

GMBREPORT

第60期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

新型コロナウイルス感染拡大の落ち込みから回復し、 過去最高売上高を達成

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第60期(2021年4月1日～2021年9月30日)上半期の中間報告書をお届けいたします。

当上半期における当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然として不透明ではあるものの、昨年落ち込んだ生産・販売が新車用・補修用ともに回復いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、同期間における売上高が過去最高となる35,578百万円(前年同四半期比41.4%増)、営業利益は400百万円(前年同四半期は854百万円の損失)となり、経常利益は733百万円(前年同四半期は1,001百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は345百万円(前年同四半期は521百万円の

損失)となりました。

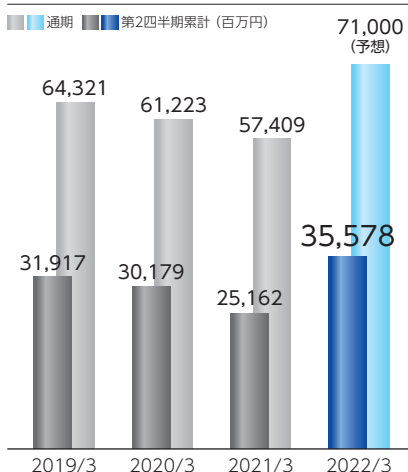
下半期にかけての見通しといたしましては、補修用部品につきましては世界各地でのコロナ禍の在庫調整からの回復による需要によって比較的底堅く推移すると見込んでおります。一方、新車用部品につきましては、電動ウォーターポンプの拡販が寄与する一方で、半導体不足による完成車の生産調整等の影響を受けると見込んでおります。また、コスト面におきましては、世界的な需要回復の影響による鋼材等の原材料価格の上昇や、物流コストの上昇が収益を圧迫すると見込んでおります。

このような状況の中、グループ各社が生産性改善とコスト競争力の強化に努め、新製品開発に取り組んでまいります。

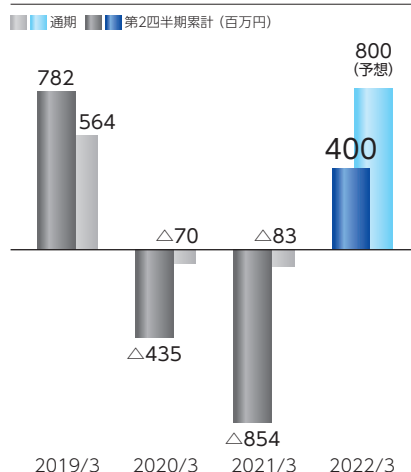
財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

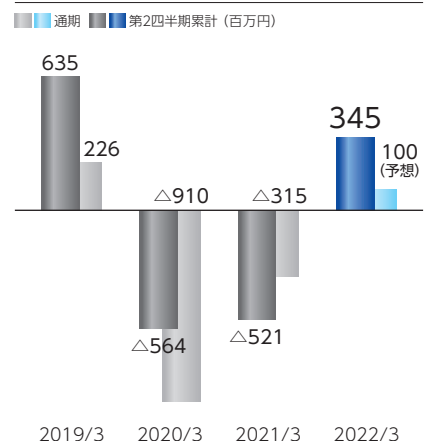
売上高



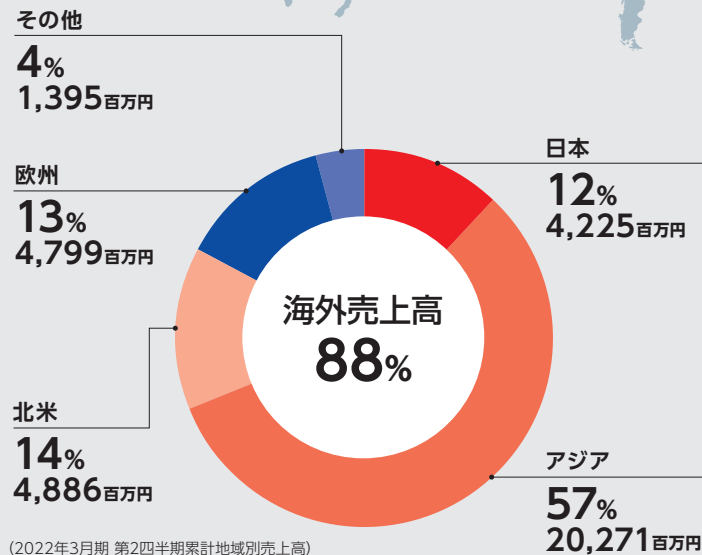
営業利益又は営業損失(△)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)



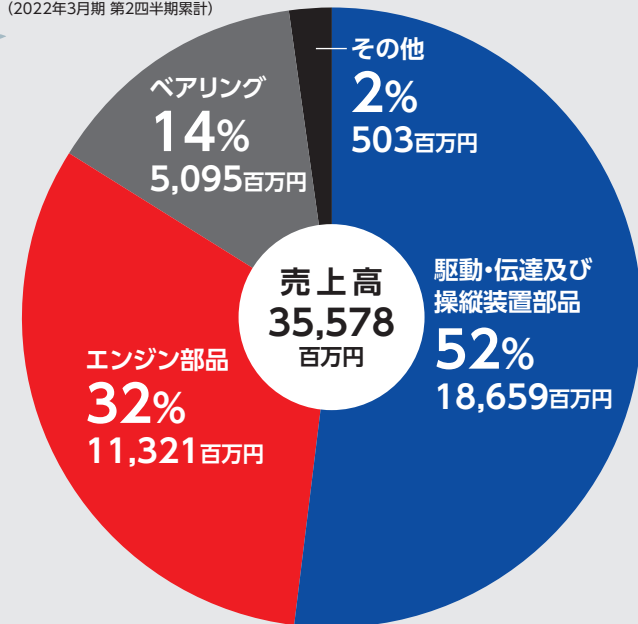
GMBグループは独立系の自動車部品メーカーとして、いち早く海外展開を進めながら、製品によっては世界トップレベルの量産規模を誇るまでに成長しております。海外のグループ生産拠点を有効活用して、グローバルでタイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。



GMBの製品展開

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに

製品分類別売上高構成 (2022年3月期 第2四半期累計)



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
流動資産	41,458	37,238
固定資産	24,573	26,374
資産合計	69,032	63,612
流動負債	30,836	26,625
固定負債	9,418	9,391
純資産合計	28,778	27,596
負債及び純資産合計	69,032	63,612

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	前第2四半期累計 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日
売上高	35,578	25,162
営業利益又は営業損失(△)	400	△854
経常利益又は経常損失(△)	733	△1,011
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	345	△521

連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	前第2四半期累計 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日
営業 C F	△320	△22
投資 C F	△1,070	△1,287
財務 C F	1,596	1,067

POINT 年間設備等投資計画の43億円に対し、当上半期はロシア工場の移転や韓国の電動化対応投資を中心として約20億円の設備投資をグループ全体で行いました。

POINT 新車用部品・補修用部品ともに順調に販売を伸ばし、第2四半期連結累計期間として過去最高の売上高となりました。

POINT 税金等調整前四半期純利益は757百万円となったものの(前年同四半期は1,035百万円の損失)、主に受注残の増加によって棚卸資産等が増加し、営業CFはマイナスとなりました。

動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、製造・販売しております。

駆動・伝達及び操縦装置部品



ユニバーサルジョイント



ステアリングジョイント



等速ジョイント



サスペンション



バルブスプール



ピニオン・シャフト

エンジン部品



ウォーターポンプ



電動ウォーターポンプ



ファンクラッチ



新車用部品市場について

ロシア工場の移転や、中国工場の設備増強等、増加する受注に対応するための動きを加速させています。
また、電動化対応製品への新規受注も好調に推移しております。
ただ、足元では半導体不足の影響を受けており、日々変化する供給状況に対応するとともに、先行きを注視しております。



補修用部品市場について

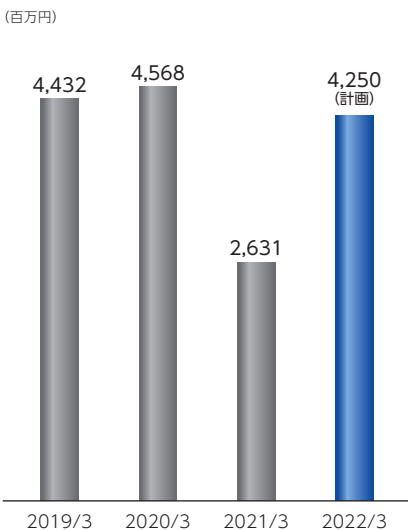
新型コロナウイルス感染拡大による各国のロックダウン等によって減少した在庫の補充需要や、競合する製品に対して相対的に競争力が改善したことなどにより、販売は底堅く推移しております。



研究開発の取り組み

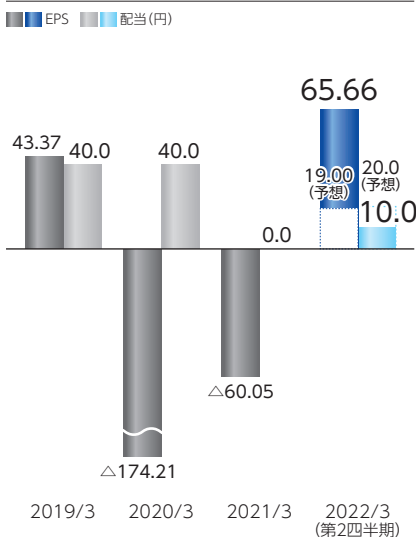
電動ウォーターポンプに続く新製品の開発を韓国子会社を中心として進めております。

⚙️ **設備投資の状況**

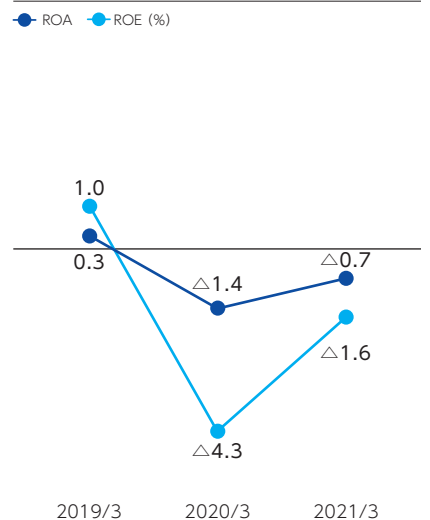


⚙️ **配当及び経営指標**

EPS/配当



ROA/ROE



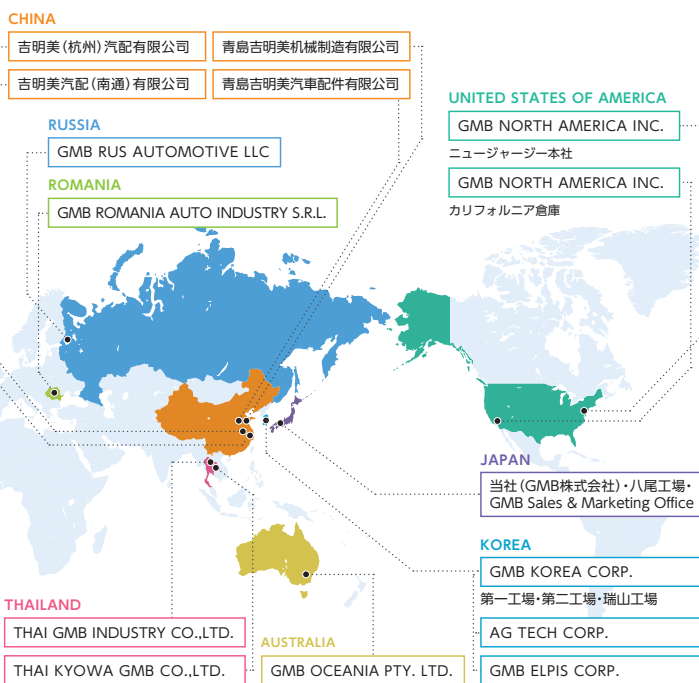
商号 GMB株式会社
 会社設立 1962(昭和37)年5月
 資本金 863,390,623円
 代表者 代表取締役社長 松波 誠
 従業員数 連結 2,701名/単体 319名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930
 Web Site <https://www.gmb.jp>
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)929-4115
 GMB Sales & Marketing Office
 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目3-7
 アーバンエース北浜ビル12F
 TEL.(06)6206-5762(代) FAX.(06)6206-5763

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,271,794株
 株主数 2,778名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,068,432	20.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	408,200	7.7
松岡 栄子	237,567	4.5
GMB従業員持株会	156,670	3.0
松岡 祐吉	126,531	2.4
松岡 祐広	124,813	2.4
金本 順子	120,406	2.3
庄司 聖吾	104,078	2.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	91,800	1.7
具 綾子	84,813	1.6

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

▶ GMBネットワーク (2021年9月30日現在)



▶ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)
 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <https://www.gmb.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)

証券コード 7214

▶ ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。



ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。